

科目名	統計学	科目コード	30150
-----	-----	-------	-------

学科名・学年	全学科・4年（プログラム1年）
担当教員	岩瀬誠一・涌田和芳（一般教育科）
区分・単位数	履修単位科目・必履修・1単位
開講時期・時間数	前期または後期，30時間【内訳：講義28，演習0，実験0，その他2】
教科書	高遠節夫他，新訂確率統計，大日本図書，2005
補助教材	プリントなど適宜配布
参考書	特になし

【A．科目の概要と関連性】

理工系の人に限らず，現代人にとって基本的な知識になりつつある統計の，基本的な考え方・計算法を学び，その手法を理解する．

関連する科目：基礎数学（本科1年で履修），微分積分（本科2年で履修）・（本科3年で履修），確率（本科3年で履修）

【B．到達目標と学習・教育目標との対応】

この科目は長岡高専の学習・教育目標の(C)と主体的に関わる．

この科目の到達目標と，成績評価上の重み付け，各到達目標と長岡高専の学習・教育目標との関連を以下の表に示す．

到達目標	評価の重み	学習・教育目標との関連
連続分布，特に正規分布を理解し，それらに関する計算力を身につける．	45%	C1
推定・検定の概念を理解し，実際の場面で応用できるようにする．	55%	C1

【C．履修上の注意】

3年次で学習した確率について，良く復習しておくこと．

電卓またはポケコンを用意し，使い方に習熟しておくこと．

演習問題を確実に解くこと．

【D．評価方法】

次に示す項目・割合で達成目標に対する理解の程度を評価する．60点以上を合格とする．

定期試験（80%）【内訳：中間35%，期末45%】

レポート（20%）

【E. 授業計画・内容】

前期または後期

回	内容	備考
1	データの整理(1) 度数分布, 代表値	
2	データの整理(2) 散布度, 母集団と標本	
3	2次元のデータ, 相関係数, 回帰直線	
4	2次元の確率変数(1) 同時確率分布, 標本分布	
5	2次元の確率変数(2) 大数の法則, 中心極限定理	
6	いろいろな確率分布	
7	中間試験	試験時間: 50~80分
8	点推定	
9	区間推定(1) 母平均の推定	
10	区間推定(2) 母分散, 母比率の推定	
11	仮説検定	
12	母平均の検定, 母平均の差の検定	
13	母分散, 等分散の検定	
14	母比率の検定	
-	期末試験	試験時間: 50~80分
15	試験解説	